

「 製 図 」	単位数	2単位
	学科・学年	機械科・2学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1 製図に関する日本工業規格及び知識と技術を習得する。 2 製作図、設計図などを正しく読む力を身に付ける。 3 図面を構想し、作成する能力と態度を身に付ける。
使用教科書・副教材等	機械製図（実教出版）

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	考 査 範 囲
1 学期	第2章 製作図 (4) 公差・表面性状 第4章 機械要素の製図 (1) ねじ	4	<ul style="list-style-type: none"> ・はめあい、幾何公差、表面性状などの意味を理解する。 ・ねじの原理を学び、各部の名称、ねじの種類と用途を学ぶ。ねじの図示方法を学び、正確な図面を描けるように技術の習得を目指す。 	期末
		5		
		6		
		7		
2 学期	(2) 軸と軸継手	8	<ul style="list-style-type: none"> ・機械部品に関わる役割と重要性について学ぶ。 ・機械要素の製図を通して、日本工業規格との関連を深める。 	期末
		9		
		10		
		11		
3 学期	製図演習 CADによる総合学習	1	<ul style="list-style-type: none"> ・機械製図検定2次試験問題（作図）について学ぶ。 ・部品を描き、組立図を作成する力を養う。 	学年末
		2		
		3		

(2) 評価の観点及び内容

関心・意欲・態度	・製図に関する諸課題について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。
思 考 ・ 判 断	・製図に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。
技 能 ・ 表 現	・製図に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、安全や環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
知 識 ・ 理 解	・製図に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における工業の意義や役割を理解している。
<ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は、定期試験の結果と授業中の態度および図面・ノート提出等により総合的に評価する。 ・学年末の成績は、第1・2・3学期の評価をもとに総合的に判断して評価する。 	

3 確かな学力を身に付けるためのアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> ・授業に必要な教科書・製図用具類の忘れ物をしないこと、図面や課題は提出期日をきちんと守ることが大切です。 ・練習問題や課題の製図に学習内容を確認しながら取り組むことを繰り返すことで、製図技術や技能が着実に身に付きます。 ・予習復習はもちろんですが、他の科目の学習内容と関連づけて学習することも大切です。
